

令和 7 年度学校運営連絡協議会実施報告書

I 組織

- 1 都立小平南高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- 2 事務局の構成
副校長、経営企画室長、総務保健部員 1 名 計 3 名
- 3 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務主任）、主幹教諭（生活指導主任）、主幹教諭（2 学年主任）、主任教諭（総務保健部主任・事務局）、主任教諭（進路指導主任）
計 8 名
- 4 協議委員の構成
PTA 会長、近隣小学校長、近隣中学校長、大学特任准教授、近隣青少対委員、地域体育施設指定管理者 計 6 名

II 令和 7 年度学校運営連絡協議会の概要

- 1 学校運営連絡協議会（第 1 ～ 3 回）の開催日時、出席者、内容、その他
第 1 回 令和 7 年 6 月 13 日（金）協議委員 4 名 内部委員 8 名
 - ・協議委員・評価委員の委嘱、委員紹介
 - ・学校経営計画、本校の現状と課題
 - ・今年度の学校評価について
 - ・意見交換、事務連絡第 2 回 令和 7 年 10 月 10 日（金）協議委員 3 名 内部委員 8 名
 - ・近況の教育活動報告
 - ・学校評価アンケートに関する内容検討、協議
 - ・意見交換、事務連絡第 3 回 令和 8 年 2 月 13 日（金）協議委員 3 名 内部委員 8 名
 - ・近況の教育活動報告
 - ・アンケート結果から明確になった本校の課題と改善策
 - ・意見交換、事務連絡
- 2 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
第 1 回 令和 7 年 6 月 13 日（金）協議委員 4 名、内部委員 8 名
 - ・学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析と考察
 - ・今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討第 2 回 令和 8 年 2 月 13 日（金）協議委員 3 名、内部委員 8 名
 - ・アンケート結果の分析・考察、課題の整理
 - ・評価報告書（原案）の検討
 - ・アンケート結果から明確になった本校の課題と改善策の取組・進捗状況

III 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- 1 調査の対象
本校生徒（831 名）、本校生徒保護者（831 名）、地域（20 名）、本校教職員（50 名）
- 2 アンケートの実施時期
令和 7 年 10 月 7 日（火）から令和 7 年 12 月 12 日（金）まで

3 アンケート回収状況

		生 徒				保 護 者				教職 員
		全体	1 年	2 年	3 年	全体	1 年	2 年	3 年	
令和 7 年 度	対象者 (人)	828	282	277	269	828	282	277	269	52
	回答者 (人)	716	216	250	250	339	—	—	—	29
	回収率 (%)	86.5	76.6	90.3	92.9	40.9	—	—	—	56
令和 6 年 度	対象者 (人)	828	280	274	274	828	280	274	274	50
	回答者 (人)	551	242	190	119	246	—	—	—	36
	回収率 (%)	66.5	86.4	69.3	43.4	29.7	—	—	—	72
令和 5 年 度	対象者 (人)	827	280	275	272	827	280	275	272	42
	回答者 (人)	759	265	248	246	443	175	147	121	42
	回収率 (%)	91.8	94.6	90.2	90.4	53.5	62.5	53.4	44.4	100

※令和6年度から保護者に学年別回答を求めている。

4 主な評価項目 学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動、健康安全、施設設備、その他

	学校運 営	学習指導	生活指導	進路指導	特別活動	健康安全	施設設備	その他
生 徒	①②	③④	⑤⑥⑦⑧	⑨⑩	⑪⑫⑬⑭	⑮	⑯	⑰～㉑
保護者	①②	③④	⑤⑥⑦⑧	⑨⑩	⑪⑫⑬⑭	⑮	⑯	⑰～⑳
教職員	①②	③④	⑤⑥⑦⑧	⑨⑩	⑪⑫⑬⑭	⑮	⑯	⑰～㉑

IV アンケート結果

1 生徒アンケート

(1) アンケート結果

昨年度と同様、4件法及び、「わからない」の項目で回答を行った。オンラインでの回答のため回答率は低下した。オンライン回答では、紙回収と比べて、提出の有無が確認できないという短所があるが、回収したものを入力する作業がなくなるため、今後の回収率を高めるための方策を検討していく必要がある。

① 肯定の割合が高い項目

順位	質問項目	今年度	昨年度
1 位	⑥私は、日常生活のマナーや社会のルールを守り、あいさつもきちんとできている。	90%	90%
2 位	⑬本校の公孫樹祭に満足している。	90%	90%
3 位	①本校に入学してよかったと思う。	84%	85%
4 位	⑮本校の健康安全教育（保健安全に関する指導や生活講話等）は適切である	82%	78%
5 位	⑫本校の体育祭に満足している。	81%	82%

② 否定の割合が高い項目（否定的意見の割合）

順位	質問項目	今年度	昨年度
1位	⑤本校の生活指導（服装・頭髪・遅刻指導等を含む）に納得できる。	43%	48%
2位	②本校の授業は、よく工夫された分かりやすいものが多いと思う。	30%	34%
3位	④本校の授業によって進路希望をかなえる確かな学力が付いていくと思う。	24%	23%
4位	①本校は目指す学校像（豊かな心と確かな学力を育てる学校）に向けて努力している。	21%	26%
5位	⑩本校の健脚大会に満足している。	19%	22%

2 保護者アンケート

（1）肯定率の高い項目、低い項目の比較

① 肯定の割合が高い項目

順位	質問項目	今年度	昨年度
1位	⑬本校の公孫樹祭に満足している。	94%	95%
2位	⑩本校の健脚大会に満足している。	91%	89%
3位	②本校に入学させてよかったと思う。	90%	86%
4位	⑥子どもは、日常生活のマナーや社会のルールを守り、あいさつもきちんとできている。	87%	86%
5位	①本校は目指す学校像（豊かな心と確かな学力を育てる学校）に向けて努力している。	80%	64%

② 否定の割合が高い項目（否定的意見の割合）

順位	質問項目	今年度	昨年度
1位	⑰本校は授業公開、施設開放、公開講座等、外部への発信が推進されている。	24%	17%
2位	⑫本校の体育祭に満足している。	24%	6%
3位	⑱本校のホームページは充実している。	23%	23%
4位	①本校の生活指導（服装・頭髪・遅刻指導等を含む）に共感できる。	22%	22%
5位	④本校の授業によって進路希望をかなえる確かな学力が付いていくと思う。	20%	22%

3 教職員アンケート

（1）肯定率の高い項目、低い項目の比較

① 肯定の割合が高い項目

順位	質問項目	今年度	昨年度
1位	②生徒は本校での生活に満足している。	100%	80%
1位	⑫本校の体育祭は適切に行われている。	100%	97%
1位	⑬本校の公孫樹祭は適切に行われている。	100%	97%
1位	⑮本校の健康安全教育(保健安全に関する指導や生活講話等)は適切に行われている。	100%	97%
1位	⑨本校の進路指導（進路行事や情報提供、進路相談など）は適切に行われている。	100%	94%

② 否定の割合が高い項目（否定的意見の割合）

順位	質問項目	今年度	昨年度
1位	⑳本校はライフ・ワーク・バランスのとれた職場環境の実現を図っている。	22%	42%
2位	⑱本校のホームページは充実している。	19%	11%
3位	①本校は目指す学校像（豊かな心と確かな学力を育てる学校）に向け努力している。	11%	14%
3位	④本校の授業で進路希望をかなえる確かな学力を身に付けることができる。	11%	11%
3位	⑥生徒は日常生活のマナーや社会のルールを守り、挨拶もきちんとできている。	11%	17%

4 地域アンケート

(1) 肯定率の高い項目、低い項目の比較

① 肯定の割合が高い項目

順位	質問項目	今年度	昨年度
1 位	⑨本校の生徒はいきいきと学校生活（教育活動・部活動・登下校の様子）を送っていると思いますか	100%	90%
1 位	⑧本校の部活動は活発だと思いませんか	100%	90%
1 位	⑪本校の校地の整備は行き届いていると思いますか	100%	89%

② 否定の割合が高い項目（肯定的意見（いいえ）の割合）

順位	質問項目	今年度	昨年度
1 位	⑩本校は学校の情報を地域に伝える努力をしていると思いますか	15%	0%
2 位	⑤本校は地域に配慮した学校づくりに取り組んでいると思いますか	14%	22%

5 考察

(1) 調査の信頼性について

昨年度から生徒、保護者、教職員、さらには地域住民についても紙媒体でのアンケートから Microsoft Forms を利用したものに切り替えている。その結果、今年度も回答率は低下した。教室で用紙を配布して一斉に回答させたほうが回答率は高まるが、DX化の流れもあり、今後も Web での回答を継続したい。教室で時間を定めて一斉に入力させる等の方法も考えられる。

(2) 今年度の考察方法について

今年度は、昨年度とアンケートの内容を継続させている。回答の状況からも昨年度との比較を行うことが可能であると判断した。そのため、生徒、保護者、教職員、地域の各アンケート結果を昨年の結果と比較し、変化があるところに着目し、考察することで現状の課題を把握し今後の方策等を考察することとした。

今回は新たに土曜授業についての意見を求めた。

(3) 生徒アンケートの結果から

まず、本校に入学して良かったという「学校満足度」については昨年度同様高く、約 85% の生徒が本校に入学したことを肯定的にとらえている。学校として最も基本的な質問項目であり、肯定的な結果を得られたことは良かった。

次いで肯定的な回答の割合が多い項目に着目すると、公孫樹祭、体育祭の行事について「満足している」という回答が多くなっている。本校では生徒の実行委員を中心に企画運営を行っている。生徒の満足度は高い。

今年、昨年とともに肯定的な回答が高かったのは「マナーについて正しくできている」という項目である。例年この項目は保護者の肯定的な回答が多く今年度も同様である。また、地域のアンケート結果においても、生徒の行動に対してのお褒めの言葉をいただくなど、学校外での行動において、よい行動ができる生徒が多いことが想像できる。

一方、交通マナーについて、心配する立場からの意見は数件ある。

(4) 保護者アンケートの結果から

肯定的な回答の割合が高い項目に着目すると、行事についてはいずれも肯定的である。本校の伝統行事である「健脚大会」については、今年度も昨年同様に肯定的な割合が高くなっている。この「健脚大会」は生徒にとっては過酷な部分もあるのか、生徒アンケートでは否定的な回答がやや多い項目に入っている。生徒が大人になって振り返った時に良い行事だったと思えてくるのかもしれないと感じている。体育祭についての肯定的回答は低下した。前年度、グラウンドに保護者席のスペースがなく、600 人の来場者を収容できず、十分に観覧いただくことができなかったため、今年度は入場制限を行った。観覧できなかった保護者に不満感があつたものと思われる。次年度についても保護者観覧については調整が必要である。

また、2 年続けて 90% 近い保護者が「本校に入学させて良かった」と回答している。多くの保護者が良かったと思っていただけていることは励みになる。

否定的な回答について着目すると、「生活指導に共感できる」について否定的な回答が 76% に達している。従来型の生活指導は保護者からは否定的に捉えられていることを示している。

(5) 教職員アンケートの結果から

「ライフ・ワーク・バランス」の実現については、実現できていないとの回答は昨年度の 42% から、今年度は 21% に低下した。

(6) 地域アンケートの結果から

今年度も、紙媒体とともに Microsoft Form を活用して回答の拡大を図った。オンラインでの回答が紙媒体の回答を上回った。来年度についても QR コードの配布など、時代に合った回答方法で実施したい。

本校の生徒や行事、部活動等についてはおおむね好感を持っていたと判断している。その中でも、近隣の大規模マンションとの間にある道路の清掃活動に本校野球部が参加しているなど、信頼関係を醸成することができている。

一方、本校生徒の登校時の自転車の乗り方については毎年苦言をいただいている。こちらについても継続的な指導をおこなっていく必要がある。また、ヘルメット着用についても継続して指導をおこなっていく予定である。

否定的な意見に目を向けると、やはり本校は PR 活動が課題である。近隣住民がわざわざ学校のホームページを閲覧するとは考えられず、校門付近での掲示など、簡単な方法で PR することも必要である。

(7) まとめ

今年度のアンケートを通じて本校の課題が見えてきた。課題解決に向けてすでに取り組んでいるもの、これから取り組むもの様々であるが、さまざまな見直しなど、引続き取り組んでいきたい。

V 学校運営連絡協議会の成果と課題

1 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- (1) 学校評価アンケートを活用し、その分析結果から本校の課題とその改善の方向性を学校経営計画に生かすことができた。
- (2) 学校評価アンケートで得られた学校への意見・要望に対して、企画調整会議等において学校としての改善策を明確にすることができた。

2 学校運営連絡協議会を実施して明らかになった課題

- (1) 学習規律、学習意欲、学習習慣の確立を図るための指導及び学習環境を整えるための支援の充実により、確かな学力の定着とさらなる向上を更に推し進める。
- (2) 3年間を見通した進路指導計画に基づくキャリア教育を組織的に進めるとともに、最新かつ正確な進路情報の提供と発信に努め、生徒の希望進路の実現を更に推し進める。

VI 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

1 生活指導

- (1) 引き続きいじめ防止基本方針に則り、いじめのない校風を維持するため、いじめは絶対許さないという毅然とした態度で、生徒に意識付けを行った。
- (2) 生徒が納得できる指導を全教員が一致して行えるよう、指導基準や指導方法について年度当初に生活指導部中心に再確認を行うとともに、体罰の根絶への意識を徹底した。

2 進路指導

- (1) 生徒一人一人が将来の職業や専門を踏まえた進路希望を実現するため、進路指導部が主導して、3年間を見通した進路計画を立案し、LHR や総合的な学習の時間等を活用した体系的なキャリア教育に取り組み、将来の職業選択を見据えた進路選択ができるようにした。
- (2) 定期考査や実力テスト、模擬試験等のデータ分析を活用して、生徒の進路実現に向けた学力分析や研修会を実施し、学力向上と進路選択のために役立たせるようにした。

3 学習指導

- (1) 教育課程の見直しを行い、本校生徒の進路実現に合ったものにした。また、実力テスト等に基づき、その結果分析を活用して、校内研修により問題点を共有化し、授業改善を行った。
- (2) 課題・宿題・小テスト等を教科と学年が連携して計画的に課すとともに、予習・復習を前提とした授業を行うことで、生徒に学習習慣を身に付けさせるように努めた。

4 特別活動

- (1) 生徒会組織を機能させることで、生徒が自ら考え、主体的に判断・行動できる場面を意図的に設定しながら、生徒に自信と責任感をもたせ、生徒の学校行事への満足度を高めるようにした。
- (2) 引き続き、補習等と部活動が重なった場合の補習優先の原則の徹底や、活動時間の厳守等時間規律の徹底を図ることで、限られた時間内での計画的かつ効率的な活動を促した。

5 施設設備

経営企画室職員と教育職員との連携を強化し、中長期的見通し立った施設・備品・設備の更新を行うとともに自律経営予算の計画的な事務執行を進めるように努めた。

VII 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

1 協議委員の回答者人数 7人

2 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	わからな い	無回答
6	1					

3 委員からの意見

- ① 高校受験は私立志向が強まっているが、小平南高校への進学希望者が減少しているということはない。
- ② 防災訓練の際、小平市内の自衛隊の協力を得たがよかった。
- ③ SNSの使い方は高校1年生からしっかり行ったほうがよい。
- ④ あいさつをする生徒が多い。
- ⑤ 健脚大会の日程を早く知りたい。

VIII 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績

{実績} 職員会議 0回 延べ 0人 企画調整会議 0回 延べ 0人

IX その他

特になし